

# FMアップルウェーブ 第115回放送番組審議会

開催日時	平成31年4月13日(火) 12:00~13:00
開催場所	土手町コミュニティパーク(弘前市土手町)
出席委員	委員長 石岡 徹、副委員長 鳴海 清彦 委員 佐藤 浩之、渋谷 拓弥、高村 智子、大西 晶子、櫻山 史子、鹿内 あかり
会社側出席者	専務取締役：一戸勝美、 放送部統括マネージャー：花田由香子、チーフ：玉田 雅規
議題	(1) 番組に対する意見要望 (2) 次回開催日について 7月6日(土)
議事の概要	<p>○ 各委員が質問と意見や気が付いた点を述べる形で議事が進行した。</p> <p>1) <b>課題番組</b> <b>『FMアップルウェーブ防災フェスタ公開生放送』</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>作業の様子を伝える場面が多い内容だったが、言葉で伝えきれていない部分があった。非常持出袋の中身に関して、最低限必要なものをはっきり言ってほしい。年に一度の特番ではなく、何回か分けて放送してもよいのでは。</li><li>公開生放送ということでスタジオとは違った空気感でよかった。防災士とパーソナリティの掛け合いもよかった。防災の施設が自分の街にあることが安心にもつながる。「アルファ化米」の説明はもっと具体的にしてほしい。非常持出袋の比較が中途半端だった。</li><li>イベント会場からの放送、音声も聞き取りやすく、行ってみたいと思う内容だった。AED、心肺蘇生法は経験しておきたい内容なので聞きこんだ。このような防災のイベントは定期的で開催してほしい。</li><li>実際に参加していたイベントなので放送ではどうかと思ったが、聞きやすかった。AEDの音声に説明が重なっており、AEDの音声を流してほしい。パーソナリティがポイントを質問する形で繰り返していたのが良かった。知らなかった施設の機能など知ることができてよかった。イベント会場では弘前で災害の映像を流していたのはリアリティがあってよかった。行政ではなく、いろんな人を巻き込んでアップルウェーブが開催しているのが良かった。</li><li>パーソナリティに安定感があって聞きやすかった。救急救命サークルの学生の説明が的確でとても分かりやすかった。ただの公開生放送、というだけでなく、防災の啓蒙になっていた。3月のこの時期は防災に関する情報があふれるので、秋にもこういった番組を放送して防災意識の向上につながってほしい。</li><li>心肺蘇生法では自分と同世代の学生が説明していたので当事者意識をもって聞くことができた。非常持出袋は最後にポイントをまとめるなどおさらいしてほしい。イベントの企画自体すばらしい内容。継続して実施してほしい。防災に関するモチベーションがあがった。</li><li>災害が起きた時に被災者がどう行動したのか、どう行動しなければならないのかを学べるような構成であるべき。まずは命を守る、食糧、救命、など、段階的に情報をまとめてほしい。電気が使えないときのラジオの役割は大きい。いざというときにどう命を守るのか、というのをしっかりアナウンスしてほしい。</li><li>防災フェスタが良い企画。防災意識を高めるという観点でもいい番組。会場に行きたい、という感想を持てる。心肺蘇生法を実際に体験してみたい、と思える。体で覚えることは大事。動きを言葉で伝えるのは難しいと感じた。できるだけリスナーがイメージしやすく、分かりやすく伝える工夫が必要。</li></ol> <p><b>【審議機関の答申または改善意見の公表】</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>議事録を本社に配備し、社内各部署に配布</li><li>FMアップルウェーブのホームページに掲載</li></ol>